

卓上ボール盤

BB-250A



お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に	1
安全にお使いいただくために	
電動工具を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
本製品について	8
用途	
各部の名称・セット内容	
製品明細	
仕様	
穴あけ能力	
使用前の準備	11
組み立てと調整	
使い方	19
作業上の注意	
使用方法	
お手入れ	21
お手入れと保管	
お買い上げの後に	23
保証書	

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
3. 作業者以外を近づけないでください。
 - 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
4. 作業に適した服装で作業してください。
 - 作業をするときは保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。

また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をおすすめします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物はバイスやクランプ・万力などで固定してください。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

19. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

20.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

22. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

23. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

24.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。
または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上のものを使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

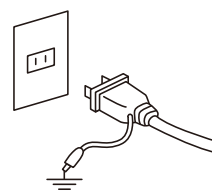
⚠ 警告

1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 使用する先端工具の使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
3. チャックハンドルなどの工具類は運転前に必ず本体から取り外してください。
4. 加工する対象物の中に異物(釘や鉄筋など)がないことを十分に確認してください。
 - 加工中、異物に先端工具が触れると刃こぼれだけでなく、強い反発力が生じケガの原因となります。
5. 使用中は、加工物を確実に保持してください。
 - 穴あけ開始・終了直前に強い反発力が生じます。確実に保持していないと、ケガの原因となります。
6. あまりにも小さな物の穴あけは危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・バイスなどでしっかり固定してください。
 - 不安定なまま作業するとケガの原因となります。
7. 回転中・作業直後の先端工具や切りクズは危険です。絶対にさわったり、顔を近づけたりしないでください。(ケガの原因)
 - スイッチを切ったあとも、先端工具はある程度惰性で回転し続けます。先端工具が完全に停止するまで手を触れないでください。(ケガの原因)
8. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
9. 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客さま相談窓口」に相談してください。

アース(接地)について

⚠ 警告

- 必ずアース(接地)を行ったうえで使用してください。故障や漏電のときの感電防止のために必要です。
- アース線をガス管に接続しないでください。(火災・爆発の原因)
- 電源は必ずアース端子のついている物を使用してください。アース端子のない場合や、アースの埋め込みなどは専門の電気工事店に相談してください。



お使いになる前に(続き)

注意

1. 本製品は工場作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. 加工物に合った先端工具を使用してください。
 - 加工物に合った先端工具を使用しないと、ドリル刃をいためる原因となります。
4. チャックの開閉は、必ず専用のチャックハンドルで行ってください。専用以外の工具でチャックを開閉すると破損の原因となります。
5. ドリル刃を加工物に当てたまま作動しないでください。必ず正規の回転数になってから作業をはじめてください。
6. モーターの回転中に、プーリーケースをあげないでください。
 - プーリーやVベルトに指や手が巻き込まれると大変危険です。
7. 回転部に切りクズやゴミなどが入らないように注意してください。
8. 常温(0～40℃)で使用してください。
9. 本製品は、ホールソーやしいたけビットなど特殊な先端工具には適しません。

穴あけについて



- 能力以上の無理な力で押しつけても穴は早くあきません。ドリル刃の破損やモーターなどの故障の原因となります。
- 本製品はVベルトの設定でモーター回転数の調整を行います。調整が不十分でモーターの回転が著しく低下する状態での作業を続けるとモーター故障などの原因となります。
- 金属などに穴をあける場合は、切削油などを使用してください。また、ドリル刃が滑らないよう、あらかじめセンターポンチなどで穴あけ位置にくぼみをつけてください。
- モーターの回転中に本体通気口から火花が見えることがありますが、故障ではありません。

本製品について

用 途

◆木材・プラスチック・軟鉄板などの穴あけに

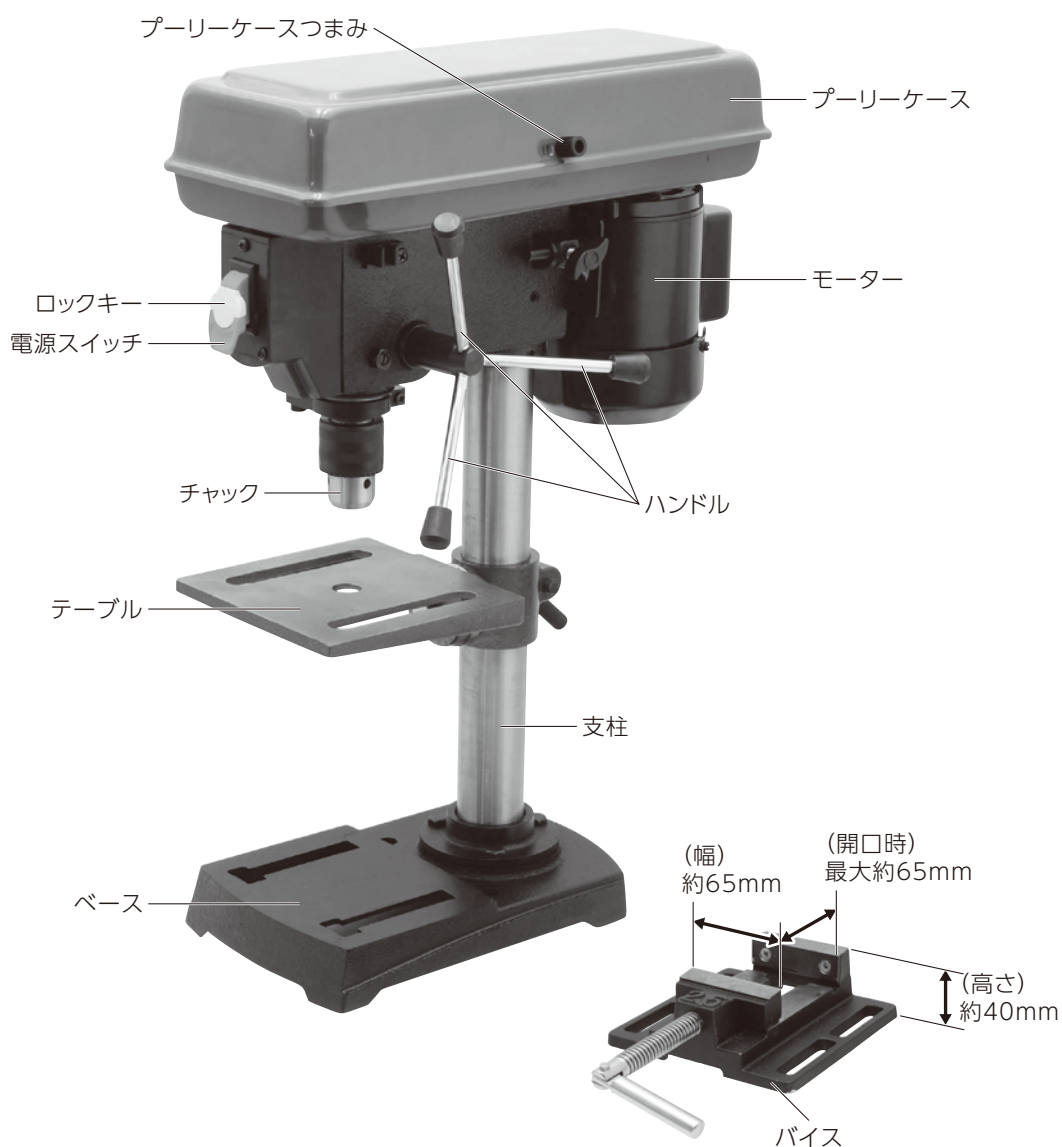
各部の名称・セット内容

要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一、不具合な点がありましたら、お買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。



本製品について(続き)

製品明細

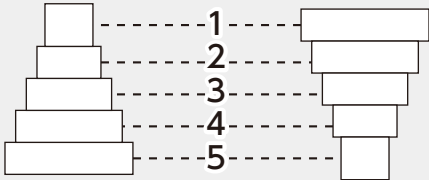


※出荷時に組み立てられている部品もあります。

仕 様

■本体(BB-250A)

電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	2.8A/2.9A
定 格 消 費 電 力	260W/290W
出 力	130W
チャック能力	1.5~13mm JT33
本 体 サ イ ズ	約 奥行430×幅215×高さ580mm
テーブルサイズ	約 160×165mm
ベースのサイズ	約 280×180mm
重 量	約 16kg
コ ー ド 長	約 1.8m

チャックからテーブル上面までの最大距離	約 180mm			
チャックからベース上面までの最大距離	約 265mm			
チャックから支柱までの距離	約 100mm			
スピンドルシャフトの上下移動	約 50mm			
無負荷回転数 (min⁻¹) 5段変速  スピンドルシャフト側 モーター側	ベルト	50Hz	60Hz	トルク
	1	2,500	3,100	小 ↑ ↓ 大
	2	1,900	2,340	
	3	1,400	1,720	
	4	890	1,100	
	5	500	620	

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

穴あけ能力

木 工	24mm	鉄 工	13mm
-----	------	-----	------

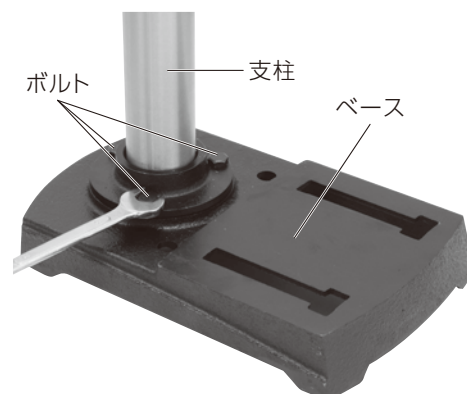
※能力はベルト設定や使用状況によって異なります。

使用前の準備

組み立てと調整

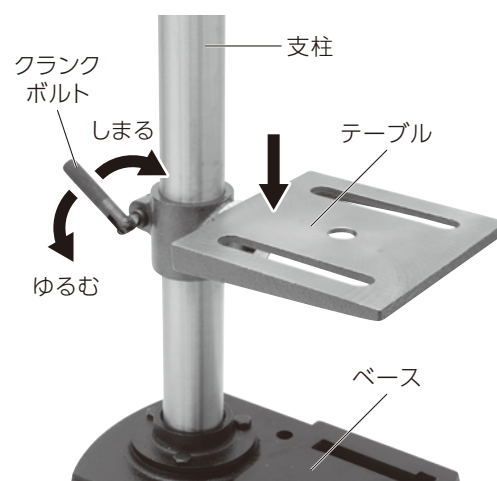
支柱とベースの組み立て

1. ベースの上に支柱を立て、3つの穴を合わせます。
 2. 付属のボルトで3ヶ所しっかりと締めます。
- ※スパナなどはセット内容に含まれておりません。お手持ちの物をお使いください。



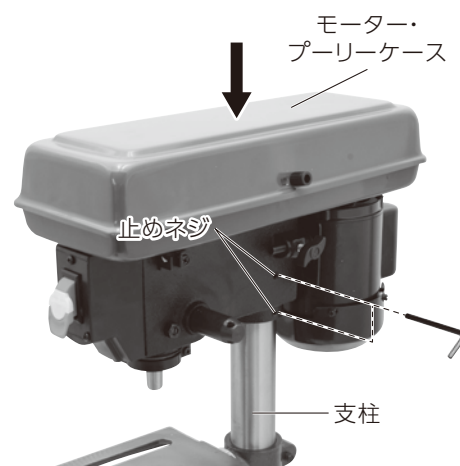
テーブルの取り付け

1. テーブルを支柱の上から差し込みます。向きはベースと合わせてください。
2. 付属のクランクボルトでしっかりと締めます。



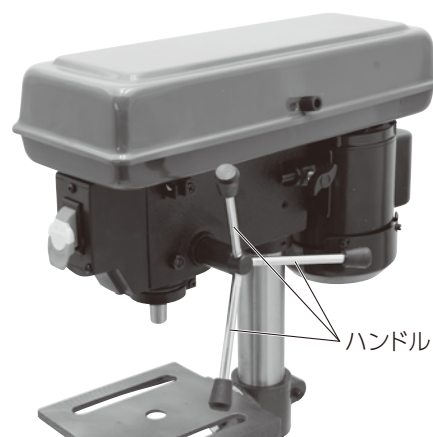
モーター・プーリーケースの取り付け

1. モーター・プーリーケースを支柱の上に差し込みます。向きはモーターが後ろになり、プーリーケースがベースと平行になるように合わせてください。
2. 本体右側にある2ヶ所の止めネジを、付属の六角棒レンチを差し込んでしっかりと締めます。



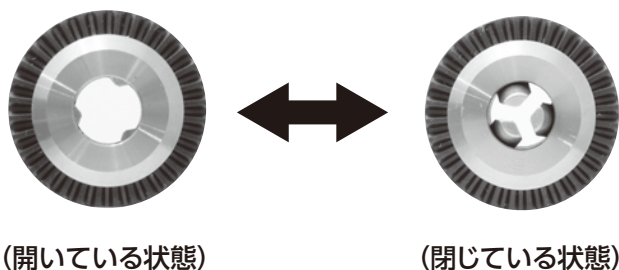
ハンドルの取り付け

- ハンドルを右図のように3ヶ所の穴にねじ込み、外れないようしっかり回して取り付けます。



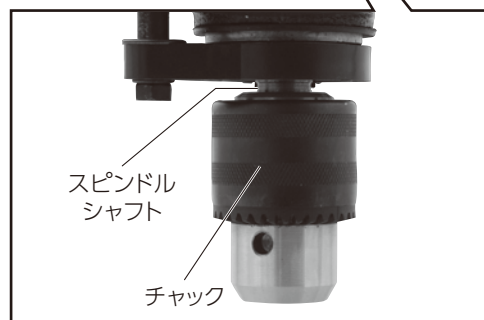
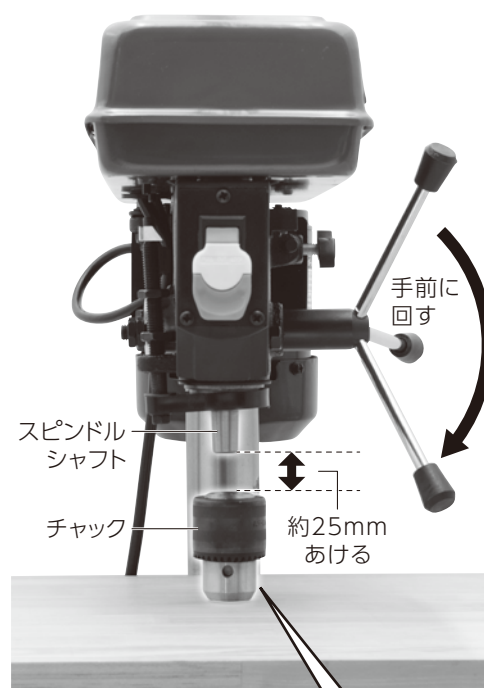
チャックの取り付け

1. スピンドルシャフト (チャックを差し込む回転軸 ※右図参照)・チャックに塗布してあるサビ止め用の油をよく拭き取ります。
2. チャックを全開に開きます。



3. テーブルの上に不要な木材などを置き、その上にチャックを乗せてスピンドルシャフトとチャックの間が25mmくらいになるようテーブルを調整します。
4. ハンドルを手前に回してチャック上部の穴にスピンドルシャフトを強く押しこみます。

※ しっかり固定されない場合はテーブルを下げ、木材をチャック先端に当てて木ハンマーまたはゴムハンマーで2～3回強く叩きこんでください。そのときは必ずチャックを全開に開いてください。



ハンドルを回して、チャック上部の穴にスピンドルシャフトを押しこむ

使用前の準備(続き)

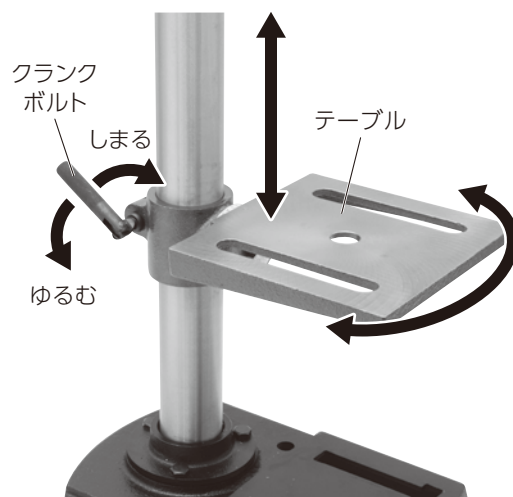
ベルトの取り付け ※梱包時取付済

1. プーリーケースつまみを持ってプーリーケースのふたを開きます。
2. 右図のようにプーリー(スピンドルシャフト側・モーター側)にベルトを取り付けます。回転数によって取り付けるベルトの位置が異なります。回転数の調整は「P.15 回転数の調整」参照。
3. プーリーケースを閉じます。



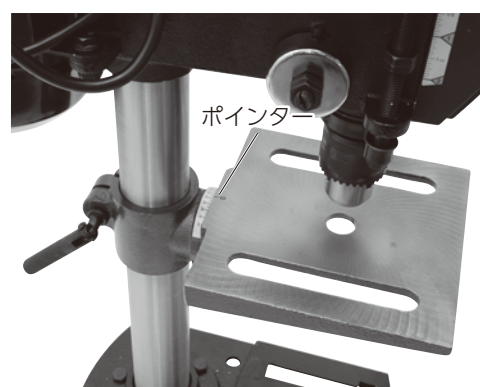
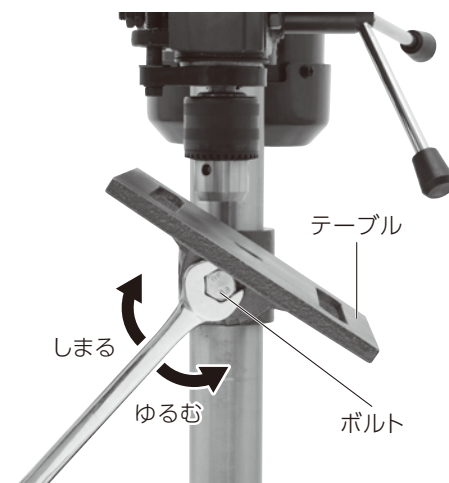
テーブルの高さ・横方向調整

1. クランクボルトをゆるめ、テーブルの高さ・横方向を調整します。
2. 希望の高さ・位置でクランクボルトをしっかり締め、テーブルを固定します。



テーブルの傾斜調整

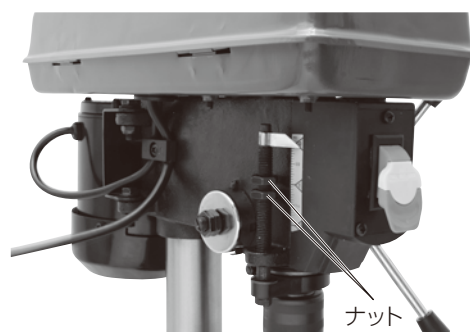
1. テーブル裏側のボルトをゆるめます。
※スパナなどはセット内容に含まれておりません。お手持ちの物をお使いください。
2. テーブルのポインターで角度を確認しながら調整します。
※テーブル角度目盛りはあくまで目安です。精度を上げるときは試し加工を行い、分度器などで測り直して調整してください。
3. 希望の角度でボルトをしっかりと締め、テーブルを固定します。



深さの調整

一定の深さで穴を開けるときに、この調整を行います。

1. ハンドルを回してスピンドルシャフトを希望の深さまで下げ、右図の下側のナットを下に当たるまで回して締めます。
2. 上側のナットを、下側のナットに当たるまで回して下げ、下側のナットが振動などで動かないよう固定します。



使用前の準備(続き)

回転数の調整

⚠ 注意

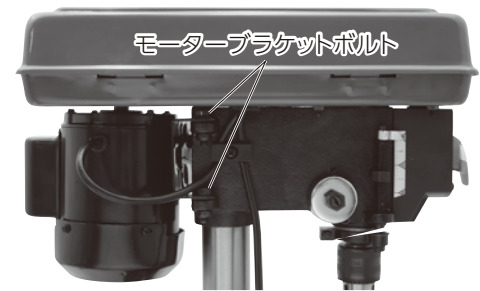
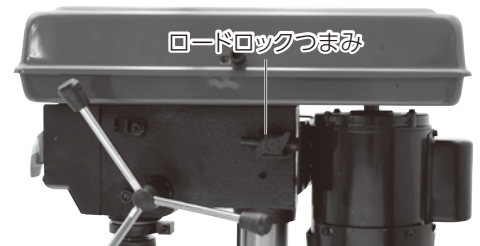
- ベルト移動のときは、手(指)を挟まないように注意してください。

◇ 注

- ベルトを強く張り過ぎるとモーターが回りません。適度な張力で締めてください。

1. ロードロックつまみとモーターブラケットボルトを回してゆるめます。

※モーターブラケットボルトを回すにはスパナなどが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物をお使いください。



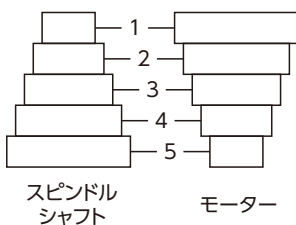
2. プーリーケースつまみを持ってプーリーケースを開け、作業に合った回転数を選び、ベルトの位置を移動させます。

プーリーケースつまみ プーリーケース



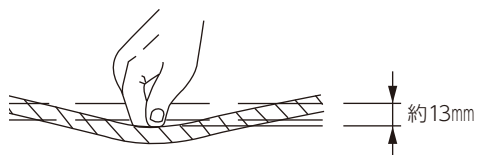
目安:低速回転=高トルクのため太いドリル向き

Vベルト形式: K-26

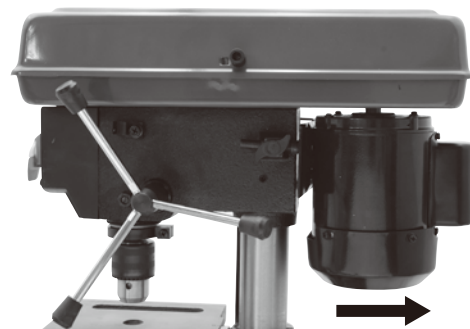


ベルト	無負荷回転数 min ⁻¹		トルク
	50Hz	60Hz	
1	2,500	3,100	小 ↑ ↓ 大
2	1,900	2,340	
3	1,400	1,720	
4	890	1,100	
5	500	620	

- 3.**適度な張力(約4kgの圧力、もしくは下図のように手でベルトに圧力をかけて約13mmになるくらい)が得られるまでモーターを矢印の方向へ引いてください。



- 4.**調整後、ロードロックつまみとモーターブラケットボルトをしっかりと締めます。



スピンドルシャフトの調整

⚠ 注意

- この調整はスピンドルシャフトの動きがスムーズでない場合のみ行ってください。
- 過度の調整は製品の破損や思わぬケガの原因となりますので注意してください。

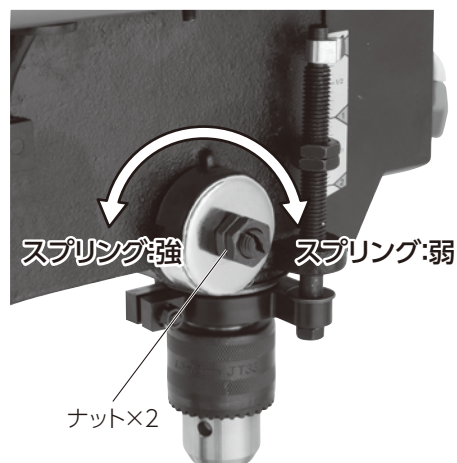
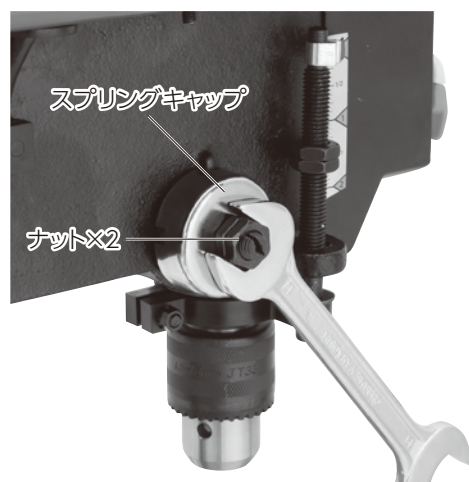
- 1.**スピンドルシャフトの上下移動がスムーズでないときは、ナット2個を外側、内側の順にゆるめてスプリングキャップのスプリングを調整します。

※ナットを回すにはスパナなどが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物をお使いください。

※スプリングが効いているためスプリングキャップに勢いよく戻る力が働きます。またスプリングがゆるむとスピンドルシャフトが下がります。注意してください。

- 2.**スピンドルシャフトが上に上がっている状態でスプリングキャップを左に回し、凹凸を合わせながら順に移動し、適当な位置で留め、ナットでしっかりと締め付けます。

※ナットを締めすぎると動きが悪くなります。注意してください。



スプリングキャップ凹部を本体凸部に引っかけてください。

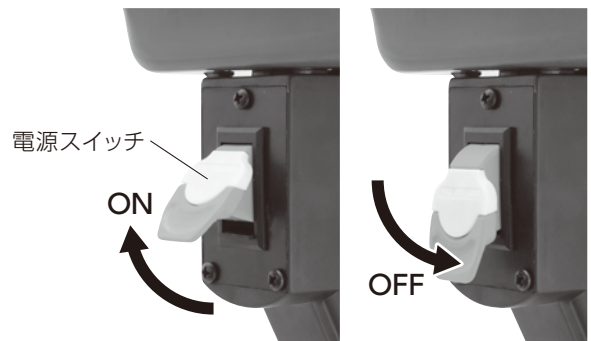
使用前の準備(続き)

試運転

⚠ 警告

- 作業者以外は周囲に近づけないでください。
- 組み立て完了後・作業前は必ず試運転を行い、各部の点検を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 電源スイッチを「ON」にして、異常なく作動することを確認してください。
3. 問題がなければ電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

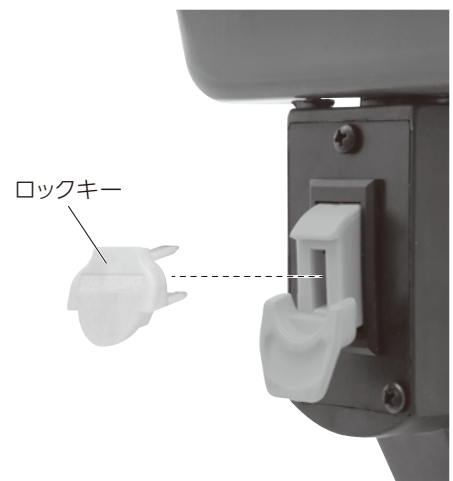


ロックキー

⚠ 警告

- 作業を一時中断する場合など、電源プラグをコンセントに差し込んだままボール盤より離れる場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてロックキーを抜いてください。ロックキーを抜いておくことで、不意の作動を防ぐことができます。

1. 電源スイッチが「OFF」の状態、ロックキー(電源スイッチの黄色い部分)を抜いてください。
 - ※ 電源スイッチが「ON」の状態、ロックキーを抜いてもモーターは停止しません。必ず電源スイッチが「OFF」の状態、ロックキーを抜いてください。
 - ※ ロックキーを抜いた状態では「OFF」にはできますが「ON」にはできません。
 - ※ ロックキーをなくさないように注意してください。
2. ロックキーを差し直せば電源を入れることができます。



ドリル刃取り付け

⚠ 警告

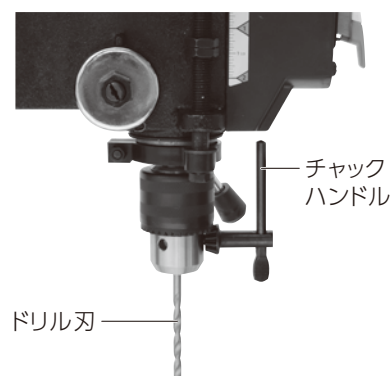
- 先端工具の取り付け・取り外しのときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業中・作業直後の先端工具や加工物・切りクズなどは非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)

⚠ 注意

- 先端工具の取り付けは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ドリル刃をチャックに差し込みます。ドリル刃がチャックの真ん中にあることを確認して、チャックの3ヶ所の穴をチャックハンドルでしっかり締めてください。

※小さなドリル刃を使用するときはチャックの奥まで差し込まずに、チャックのツメの先端でドリル刃の固定部(口部)を固定してください。

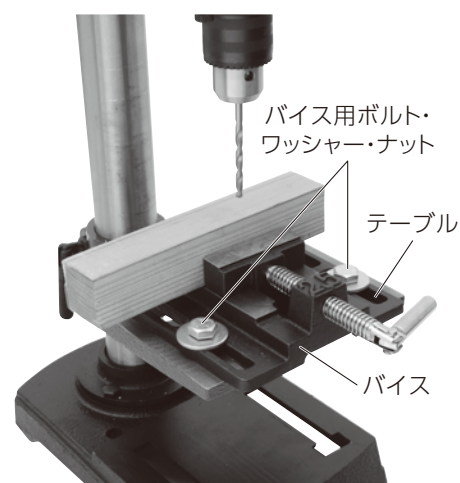


バイスでの固定

- テーブルに止められないような小さなものを加工するときは、バイスを使用してください。バイスは必ずバイス用ボルト・ワッシャー・ナットでテーブルにしっかり取り付けてください。

加工物をバイスに挟み、バイスのハンドルを回して動かないように固定してから加工を行ってください。

※締め付けすぎると加工物が破損する場合があります。注意してください。



作業上の注意



1. 作業場所・作業順序に注意してください。
2. 電源スイッチを入れる前に、チャックハンドルや調整用工具などが取り外されていることを確認してください。
3. 作業場をきれいにしてください。散らかっている作業場や作業台は事故のもとです。作業場は常に明るくしてください。
4. 危険な環境で使用しないでください。機械は、湿気やほこりの多い所や、雨などにさらされる屋外での使用はしないでください。
5. 作業者以外を近づけないでください。特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
6. 機械や付属品に設計されていないような作業はしないでください。
7. 正しく使用してください。設計された速度で、安全に作業を行ってください。
8. 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。
だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は機械に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
9. 保護メガネをつけてください。
10. 金属などに穴をあける場合は、ドリル刃がすべらないよう、あらかじめセンターポンチなどで穴をあける位置にくぼみを作ってください。
11. ドリル刃を、加工物に当てたまま、電源スイッチを入れないでください。必ずモーターが正規の回転数になってから作業を始めるようにしてください。モーターに負担がかかったり、ドリル刃が折れる原因となります。
12. 能力以上の無理な力で押しつけても早く穴はあきません。モーターに負担がかかったり、ドリル刃をいためる原因となります。
13. 金属などに穴をあける場合は、切削油などを使用してください。
14. 穴あけぎわにドリル刃が折れやすくなります。穴あけぎわに力をゆるめるとうまく穴あけできます。
15. 特に小さなものを扱うときは、クランプ・バイス(万力)などで完全に固定して作業してください。
16. 機械は定期的に手入れをしてください。安全な作業ができるように常にきれいに保守点検を心掛けてください。
17. 機械の手入れをするときは、必ず電源を抜いてから行ってください。特にドリル刃を交換するようなときは、必ず守ってください。
18. 電源プラグをコンセントに差し込む前にスイッチが「OFF」の位置にあることを必ず確かめてください。

使用方法

※作業場所には作業員以外を近づけないでください。

1. テーブルの高さを調整し、加工物とドリル刃の位置を調整してください。

※テーブルの中央の穴とドリル刃の位置を合わせておくか、不要な木材(捨て木)などを敷いておくことで、ドリル刃が加工物を貫通した場合でも、テーブルやドリル刃の破損を防ぐことができます。

※テーブルに木材を敷く場合は、必ず支柱に向かって左側に当たるように敷いてください。(ドリルの強い力がかかった場合に木材が暴れないようにするため。)

2. 加工物をしっかりと固定してください。

3. 電源スイッチを「ON」にし、モーターを始動させてください。

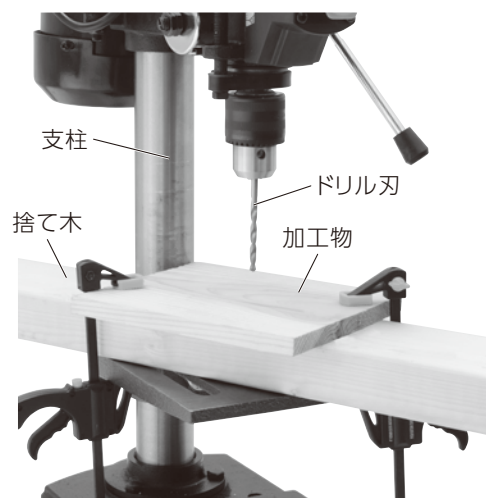
※モーターの回転が安定するのを確認してから加工を行ってください。

4. 右手でハンドルをゆっくりと手前に回して加工を行ってください。

※強い力で無理に回すと、ドリル刃・加工物の破損、ケガをする恐れがありますので注意してください。

※電源スイッチの左側に深さ目盛が付いていますが、数値はあくまでも目安です

5. 加工が終わりましたらゆっくりとハンドルを元の位置に戻し、電源スイッチを「OFF」にしてください。



本製品にはサーモスタットが組み込まれており、モーターの温度が異常に上がるとサーモスタットが作動し、電源が自動的に切れます。サーモスタットが作動したときは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、涼しい所で本製品を冷ましてください。下記のような原因により、サーモスタットが作動します。点検を行い、原因を取り除いたあと、再使用してください。

- 能力以上の過負荷での使用
- 連続運転によるモーターの過熱
- 適用外の延長コードの使用
- モーター故障などでの異常過熱

モーターの温度が下がると使用可能になりますが、再び作動停止した場合は、使用方法の不備、または故障が考えられます。

お手入れ

お手入れと保管

警告

- お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

先端工具の点検

注意

- 先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化します。定期的に点検を行い、異常が見られた場合はすぐに交換してください。
- 切れ味が悪くなったドリル刃を使用すると能率が悪く、また本体にも負担がかかりますので早めに交換してください。

各部取付ネジの点検

- 各部取付ネジなどにゆるみがないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるネジがありましたらしっかりと締め直してください。

清掃・お手入れ

- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)
- 本体は水で洗わずに乾いた布で拭いてください。
- 回転部に切削クズやゴミなどが入らないように注意してください。入った場合は取り除いてください。
- 回転部・可動部には定期的に油を塗ってください。

保管

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。
- 使用後は本体や先端工具の汚れやほこり・切りクズなどをきれいに取り除いてから保管してください。

MEMO

[illegible]

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 卓上ボール盤			お買上げ日	年 月 日
型式	BB-250A	JAN コード	4907052 377332	保証期間	お買上げ日より 6ヶ月
販売店	販売証明書や レシートなどを 添付してください。				

保証規定

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日祝日および弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。